

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信
主な取組	平和の礎への追加刻銘		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	<p>・沖縄戦において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた凄惨な経験を通して、慰霊の日における沖縄全戦没者追悼式の開催、平和の礎への追加刻銘など、戦没者のみ霊を慰め、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
追加刻銘等の実施、施設・設備等の整備	県	追加刻銘等の実施、施設・設備等の整備		
		追加刻銘者数(累計)		
		55人	50人(105人)	45人(150人)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/8065.html">https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/8065.html</a>

様式 1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		平和の礎事業		予算事業名		平和の礎事業
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		当初予算額
		県単等	委託	7,332	7,869	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
・令和4年度追加刻銘の実施、施設・設備等修繕、刻銘修正箇所にかかる劣化状況調査				・令和5年度追加刻銘の実施、施設・設備等修繕、長寿命化計画策定業務委託		

活動指標名	追加刻銘者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	30人	41人	55人	55人	100.0%	順調	令和4年度は、令和3年度に新たに『平和の礎に係る刻銘の基本方針』に該当すると認定された戦没者55名について、追加刻銘を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和4年度は、令和3年度に新たに『平和の礎に係る刻銘の基本方針』に該当すると認定された戦没者55名について追加刻銘を実施した。平和の礎が建設された平成7年以降の刻銘者数は「241, 686名」となり、計画は順調に推進されている。追加刻銘の進捗により、平和を希求する沖縄の心を県内外へ発進することができた。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関を活用した周知（具体例：追加刻銘者数発表、刻銘作業の取材依頼を引き続き行う）。</li> <li>戦没者の立証にかかる遺族の負担軽減とともに、戦没者が刻銘されている事が確認できるよう、平和の礎へ追加刻銘を希望する遺族へ適切な説明を行う（例：戦没者の戸籍簿が存在しない場合は戦没者の当時の状況を知っている人に証明書を書いて沖縄戦で戦没したことを証言してもらうように説明する。実家戸籍を添付するなど出身地情報を確認する等）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関を活用した周知（具体例：追加刻銘者数発表、刻銘作業の取材依頼を引き続き行う）。</li> <li>平和の礎へ追加刻銘を希望する遺族からの電話問合せに対しては、口頭で回答する以外に説明文を送付し、手続き方法をわかりやすく伝えるようにしている。また、直接来課する遺族に対しては、追加刻銘に対する思いを聞いたうえで、書類の書き方を丁寧に説明している。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	・「平和の礎」追加刻銘等事業が、県内外に周知されるのが毎年6月23日前後だけである事から、それ以外の時期にも、追加刻銘について周知する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	・追加刻銘の方法等について、報道機関を活用した周知を9月頃にも行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信
主な取組	沖縄全戦没者の追悼		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	<p>・沖縄戦において一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた凄惨な経験を通して、慰霊の日における沖縄全戦没者追悼式の開催、平和の礎への追加刻銘など、戦没者のみ霊を慰め、平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
冷厳な歴史的事実にかんがみ、戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄のこころを発信するため、沖縄全戦没者追悼式を開催する。	県	沖縄全戦没者追悼式の開催(「慰霊の日」6月23日)		
		沖縄全戦没者追悼式の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部保護・援護課 【 098-866-2428 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 慰霊等事業費（沖縄全戦没者追悼式）				予算事業名 慰霊等事業費（沖縄全戦没者追悼式）		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	12,548	15,757	県単等	委託	28,736
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信するため、6月23日の慰霊の日に沖縄全戦没者追悼式を開催した。				沖縄戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う沖縄の心を発信するため、6月23日の慰霊の日に沖縄全戦没者追悼式を開催する。		

活動指標名	沖縄全戦没者追悼式の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回	100.0%	順調	戦没者のみ霊を慰めるとともに世界の恒久平和を願う沖縄のこころを発信し、沖縄戦の歴史的教訓を正しく伝え、次世代の子ども達に平和の尊さを継承するため、6月23日の慰霊の日に沖縄全戦没者追悼式を開催した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルスの感染拡大により規模を大幅に縮小しての式典開催となったが、3年ぶりに内閣総理大臣をはじめとする要人や遺族代表の参列により、沖縄戦で犠牲となった御霊を慰めるとともに、テレビ放送等により世界の恒久平和を願う沖縄の心を全国に発信した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典の規模に応じた動員職員の業務割り振り及び適切な人員配置を行い、業務を円滑に実施する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染対策について、参列者に事前に案内するとともに受付で丁寧な説明をすることにより理解と協力を求める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により規模を大幅に縮小しての式典開催となったが、新型コロナウイルス感染対策など通常開催とは異なる対応もあったが適切な人員配置により円滑に業務を実施した。</li> <li>・新型コロナウイルス感染対策として、入場の際に、検温、マスクの着用確認、手指のアルコール消毒を行う旨を参列者に事前に案内するとともに受付で丁寧な説明をすることにより、理解と協力を求めた。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、式典の規模を決定することから、式典の規模に応じた動員職員の業務内容及び人員配置を適切に検討する必要がある。</li> </ul>
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候によっては、テント内に風が通らないこともあり、体調を崩す方がいることから熱中症対策の必要がある。</li> </ul>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典の規模に応じた動員職員の業務割り振り及び適切な人員配置を行い、業務を円滑に実施する。</li> </ul>
⑧ その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参列者及び動員者の熱中症対策を行う。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○平和を希求する「沖縄のこころ」の国内外への発信力の強化
主な取組	沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	・平和発信の拠点となる沖縄県平和祈念資料館での魅力ある企画展の開催及び展示内容の多言語化を進め、国内外への発信力の強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄県平和祈念資料館における特別企画展等の開催	県	沖縄県平和祈念資料館における特別企画展等の開催		
		特別企画展等の開催回数(累計)		
		5回	6回(11回)	5回(16回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和祈念資料館展示活動事業			予算事業名	平和祈念資料館展示活動事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	26,819	32,995	県単等	委託	27,843
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
特別企画展、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展等の展示を開催した。				特別企画展、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展等の展示を開催する予定。		

活動指標名	特別企画展等の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	5回	5回	5回	5回	100.0%	順調	特別企画展、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、ギャラリー展、新収蔵品展



様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルス感染症が落ち着いたが、12月から建築改修工事に入り臨時休館が続いた (R4.12~R5.4)。その中で、当初予定より多くの企画展等を中止することなく開催できた。前年度末からの新収蔵品展も含め、寄贈者の想いも含めて展示できたことで、改めて沖縄戦と向き合う契機となった。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規学芸員の専門性を活かした企画展の開催や県民等に向けた学習会の定期開催を通して誘客を図る。移動展等含めた当館の活動の積極的広報をWEBでの発信やマスコミへの取材依頼等を活用して行う。</li> <li>・ 資料貸出による平和教育のサポートを通して修学旅行等の誘致を行い、県内学校に平和講話や出前講座等、当館の積極的な活用を働きかける。</li> <li>・ WEBによる多言語化証言映像の発信や展示内容の多言語化による外国人の来館者の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規学芸員の採用から2年目となり、人材育成事業における指導員の助言・研修のもと「日本復帰50周年記念特別企画展」を開催できた。県内外から関心を持った観覧者が多数来館された。</li> <li>・ R2年度より取り組んでいる「大人のための平和学習」も毎月実施できるようになり、次年度以降も沖縄戦の学び直しに有効である。</li> <li>・ 児童・生徒の平和メッセージ展の優秀作品の移動展示が離島を含めて5地域で開催することができた。</li> </ul>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	「沖縄戦」の内容に特化した施設であるため、企画展等のテーマ、内容が類似する傾向が否めないため、マンネリ化していないかなどの検証を踏まえ、魅力ある企画展を開催する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	専門的な知識を持つ学芸員を中心に、テーマや見せ方、切り口、展示手法など、他施設の企画展等も参考にしつつ、国内外の戦争・紛争等の時事的問題も考慮し、魅力ある企画展となるよう努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	①国内外に向けた平和を希求する「沖縄のこころ」の発信
			施策の小項目名	○戦争遺跡の保全
主な取組	第32軍司令部壕の保存・公開		対応する成果指標	平和の礎の来園者数及び平和祈念資料館のサイトアクセス数
施策の方向	<p>・国や市町村等との連携・協働の下、県内各地に残されている戦争遺跡の保全に取り組み、一般公開が可能な遺跡については、沖縄戦の記憶継承の空間としての利活用に取り組みます。特に、沖縄戦の軍事的中枢施設であった第32軍司令部壕については、壕の詳細な位置の確認や壕周辺の地盤の安全性を検討するための地質調査等を進め、壕の保存・公開に向けて取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
保存・公開に向けた詳細調査実施と情報発信	県	保存・公開に向けた詳細調査実施と情報発信		
		調査や情報発信等の実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課	【 098-866-2500 】	関連URL	<a href="https://32okinawa.com/">https://32okinawa.com/</a>

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 第32軍司令部壕保存・公開事業				予算事業名 第32軍司令部壕保存・公開事業		
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
県単等	委託	34,496	141,517	県単等	委託	67,850
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
壕内外の詳細調査の実施及び第5坑口周辺土地の取得並びに専用ホームページの制作				壕内外の詳細調査の実施及び専用ホームページ等を活用した情報発信等		

活動指標名	調査や情報発信等の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	8回	3回	100.0%	順調	壕内外の詳細調査を実施するとともに壕の保存・公開のあり方等を検討するための有識者会議を開催し、その内容等について情報発信を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

壕の状態把握等を目的として詳細調査を実施するとともに、壕の保存・公開のあり方等を検討するための有識者会議を6回開催して年度末に提言がなされた。これらの取組について適宜情報発信を行った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	壕内外の詳細調査について、有識者会議の場で状況を報告するほか、プレスリリースやブリーフィング等を行うことで、県の取組について適宜情報発信を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	第32軍司令部壕の保存・公開にあたっては、費用や財源の確保について検討が必要となる。	① 執行体制の改善	第32軍司令部壕保存・公開基本計画を策定する際に、費用や財源の確保についてもあわせて検討する。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	第32軍司令部壕の保存・公開に向けた取組を推進するためには、県及び関係機関の連携が必要となる。	② 連携の強化・改善	第32軍司令部壕の保存・公開に向けた取組を今後も推進するため、県や関係機関が連携して情報共有や意見交換等を目的とした連絡会議を設置し、推進体制を強化する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○平和を軸とする国際的なネットワーク形成
主な取組	沖縄平和賞の開催		対応する成果指標	独自の平和交流を展開するネットワーク数(累計)
施策の方向	<p>・アジア・太平洋地域の平和の構築と維持に貢献する個人・団体を「沖縄平和賞」として顕彰し、賞を通して受賞団体等の活動を支援するとともに、「沖縄平和賞」の更なる認知度向上を図りつつ、受賞団体等とのネットワークを活用した平和に関する広報啓発活動等の新たな展開を進め、平和を軸とする国際的なネットワーク形成に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄平和賞の周知を図るパネル展等の開催	県,沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞の周知を図るパネル展等の開催		
		パネル展の開催箇所数(累計)		
		9箇所	9箇所(18箇所)	9箇所(27箇所)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課	【 098-866-2500 】	関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/16150.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/16150.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		平和創造・発信事業		予算事業名		平和創造・発信事業
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		当初予算額
		県単等	負担	6,000	27,195	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
第11回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業の実施。				第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業の実施。		

活動指標名	パネル展の開催箇所数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	7箇所	9箇所	17箇所	9箇所	100.0%	順調	沖縄平和賞パネル展を県内外各施設の17カ所で実施。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞パネル展開催の目標値9カ所に対し、県内外各施設の17カ所で実施した。施設を利用する多くの県民や観光客等に沖縄平和賞の周知を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
これまでの情報発信・広報事業に加え、歴代受賞者によるシンポジウム等の取組を実施することで、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努めるとともに、支援募金者の拡大に取り組む。	第10回沖縄平和賞受賞者である特定非営利活動法人国際協力NGOセンターと連携した「沖縄平和賞国際平和シンポジウム」を実施し、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	パネル展等の開催において、目標値を達成することができ、沖縄平和賞の認知度向上を図ることができた。 引き続き、認知度向上に係る取組を継続的に行っていく必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	沖縄平和賞の専用のホームページを開設し、同賞のさらなる認知度向上に努める。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○「国際平和研究機構（仮称）」の設置検討
主な取組	平和推進に関するネットワークを活用した情報収集・連携		対応する成果指標	独自の平和交流を展開するネットワーク数（累計）
施策の方向	・平和推進の拠点となり調査研究や情報発信等を行うため「国際平和研究機構（仮称）」の設置を検討するとともに、平和に関する多様な資源の集積や様々な機関との連携強化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
沖縄平和賞受賞団体との定期的な意見交換会実施	県,沖縄平和賞委員会	沖縄平和賞受賞団体との定期的な意見交換会実施		
		意見交換会実施回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwananjo/heiwa/16150.html</a>



様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	平和創造・発信事業			予算事業名	平和創造・発信事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	6,000	27,195	県単等	負担	11,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
第11回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業の実施。				第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業の実施。		

活動指標名	意見交換会実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	1回	1回	100.0%	順調	沖縄平和賞受賞団体との定期的な意見交換会の実施

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞受賞団体との意見交換会を実施しており、沖縄の課題はもちろん、各団体が活動する国や地域、活動領域における諸課題、特に平和や民主主義を守るうえで必要な取り組み課題について議論する場となった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	沖縄における課題・取組みは勿論のこと、歴代受賞団体のもつ諸外国における課題や取組みについても意見交換を行うことに重点を置いた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成に取り組むため、さらなるネットワークの構築及び連携を深める必要がある。	② 連携の強化・改善	平和推進に関するネットワークを活用した情報収集・連携を実施しており、これまでの連携を継続しつつ、引き続き関係団体等との意見交換会を実施していく。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	アジア・太平洋地域の平和発信拠点の形成	施策	②アジア・太平洋地域における平和ネットワークの形成
			施策の小項目名	○国際会議の開催
主な取組	平和推進に関するネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催		対応する成果指標	独自の平和交流を展開するネットワーク数(累計)
施策の方向	・国際関係機関と連携の下、関係諸国の機関や研究所に呼びかけ、平和構築に貢献するための定期的な国際会議の開催に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
ネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催	県,沖縄平和賞委員会	ネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催		
		会議等の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	<a href="https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/16150.html">https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/heiwanjo/heiwa/16150.html</a>

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		平和創造・発信事業		予算事業名		平和創造・発信事業
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	負担	6,000	27,195	県単等	負担	11,000
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
第11回沖縄平和賞授賞式の開催及び関連事業の実施。				第12回沖縄平和賞受賞候補者の調査並びに沖縄平和賞の情報発信及び広報事業の実施。		

活動指標名	会議等の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	1回	1回	100.0%	順調	ネットワークを活用した会議やシンポジウム等の開催

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄平和賞歴代受賞者や国際機関関係者を招聘しシンポジウムを開催した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
これまでの情報発信・広報事業に加え、歴代受賞者によるシンポジウム等の取組を実施することで、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努める。	第10回沖縄平和賞受賞者である特定非営利活動法人国際協力NGOセンターと連携した「沖縄平和賞国際平和シンポジウム」を実施し、沖縄平和賞の趣旨や本県の平和への取組を全国に発信し、同賞のさらなる認知度向上に努めた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	平和推進に関するネットワークを活用した情報収集・連携を実施しており、これまでの連携を継続しつつ、さらなるネットワークの構築に取り組む必要がある。	② 連携の強化・改善	引き続き沖縄平和賞歴代受賞者や関係団体等と連携し、シンポジウムを開催していくことで、さらなるネットワークの構築に努めていく。